

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 10 階 1004・5 号室	ガバナーノミニー	大橋 秀典
	ガバナーノミニーデジクネット	吉川 健之
リーダー 役職・氏名	次年度 RYLA 委員会 委員長	富永 明
パストガバナー 片山 勉	次年度ローターアクト委員会 委員長	中嶋 茂夫
	次年度インターアクト委員会 委員長	木下 仁湊
	次年度青少年交換委員会 委員長	久松 秀雄
	次年度学友委員会 委員長	坂田 淳一
議事録作成者	矢倉孝二、西出雅弘(大阪大淀)	

開会：(15時30分)
発表者：リーダー・パストガバナー 危機管理委員長 片山 勉 (15時30分)
<p>【記録内容】「ロータリーの危機管理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに危機管理は地区主体でしたが、昨年度からクラブ主体になりました。 ・国際ロータリーの青少年奉仕は未来を担う活動です。 ・地区予算の60%は青少年奉仕部門です。 ・危機管理の基本姿勢は、危機の予兆を敏感に予知する必要がある。 ・危機管理の基本姿勢は、ロータリアンも同様に持たなければいけない。 ・パワハラ・セクハラは高圧的な態度とコミュニケーションが不足している事が原因であることが多く、良質なコミュニケーションが必要である。
発表者：次年度 RYLA 委員会 委員長 富永 明 (15時48分)
<p>【記録内容】「RYLA について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RYLA とは「Rotary Youth Leadership Award」の略語です。 青少年としての知識と技術の向上を目的とするプログラムです。 ・5月3日4日5日の春の RYLA セミナーの案内 ・RYLA セミナーを日本で初めて開催されたのは2660地区です。 ・次年度は秋の1回のみを開催を予定しています。 11月3日4日5日にロジ舞洲で開催予定です。
発表者：次年度ローターアクト委員会 中嶋 茂夫 (16時05分)
<p>【記録内容】「ローターアクトについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RAC 中心のポリオデーイベントを10月に開催を予定しています。 ・25クラブ243名が衛星クラブの設立を目指して活動しています。 ・3月25日26日に金沢で行われた全国ローターアクト研修でのアンケート調査によると、ローターアクトからロータリアンになりたいと考えている方が予想以上に少なかった。 ・ローターアクターとロータリアンの相互理解が必要です。 ・ローターアクターを理解するために RAC の例会に参加しましょう。 ・ローターアクターを卒業後はロータリー学友会を薦めましょう。

発表者：次年度インターアクト委員会 委員長 木下 仁湊 (16時17分)
【内容】「インターアクトについて」 ・国内研修にて、地元の中高生とボランティア活動を共にし、関係を築く。 ・今年度の国内研修は、福島県へ震災復興の体験を予定しています。 ・2023-24 年度は海外研修へシフトチェンジを検討しています。 ・クラブの負担、ホストファミリーなど課題はあります。
発表者：次年度青少年交換委員会 委員長 久松 秀雄 (16時30分)
【内容】「青少年交換について」 ・青少年交換プログラムについて、もっと意識を高めてください。 ・長期交換は期間1年、プログラム参加費用10万円、往復の交通費、保険料は本人(保護者) 現地での生活費、教育費の全額及び少々の小遣いはホストロータリークラブが負担します。 ・夏休みなどに数週間交換する短期交換プログラムもあります。
発表者：次年度学友会 委員長 坂田淳一 (16時45分)
【内容】「ロータリー学友会について」 ・ロータリー学友会についてビデオ上映にて説明する。 ・ポリオデーイベントに参加します。 ・ロータリー学友会への入会を仕組化できるように考えています。 ・ロータリー学友会は、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、ロータリー奨学金 ロータリー平和フェロシップといったプログラムに参加した人たちから成るグループで、ロータリーからの認定を受けて設立されています。 ・学友会のメリットは、まだロータリークラブ入会の準備が出来ていない人も、ロータリアンとの交流を続けることで、いつかクラブに入会できる日が来るかもしれません。
閉会 (17時00分)

備考・メモ

特にありませんでした。

2023年4月24日(月)までに Word のままメール添付でお送りください。

返信先：ガバナー事務所 E-mail：sugimoto@ri2660.gr.jp